

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	網走港における安全で利便性の高い港湾環境の形成（防災・安全）														
計画の期間	令和03年度 ～ 令和03年度（1年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	網走市														
計画の目標	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の改良を行い、港湾利用の安全性と効率性の向上を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		420	A	420	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度	令和3年度中旬	令和3年度末
1	港湾施設（防舷材・緑金物・車止め）の更新を行うことで、安全で効率的に利用できる。			
	付帯施設の改修により、安全に係留できる岸壁・物揚場の増加率	0%	50%	100%
	（整備前）付帯施設の破損及び欠損により、安全係留が確保されていない岸壁・物揚場 7箇所			
	（整備後）付帯施設の破損及び欠損により、安全係留が確保された岸壁・物揚場 7箇所			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	北海 道	網走市	直接	網走市	重要	改良	岸壁付帯施設改修事業	岸壁付帯施設改修（防舷材・ 縁金物・車止め）N=7施設	網走港 港町地 区・新港地区	■					420		策定済
		令和4年度から他事業に移行																	
											小計						420		
											合計						420		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
網走市役所建設港湾部内で実施	事業終了後、令和8年2月
	公表の方法
	網走市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	適切な港湾利用を目的とした港湾施設の改良を行い、港湾利用の安全性と効率性が3/7箇所向上した、今後については「港湾メンテナンス事業」に移行し、更なる港湾利用の安全性と効率性の向上を図る。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	岸壁付帯施設改修（防舷材・緑金物・車止め）N=7施設		
	最 終 目標値	100%	令和4年度から他事業に移行
	最 終 実績値	43%	